

平成28年度 第1回常滑市総合教育会議

1 日 時 平成28年4月28日(木)
開会 15時00分 閉会 16時00分

2 会 場 常滑市役所4階第3会議室

3 出席者 常滑市長 片岡 憲彦
常滑市教育委員会
委 員 渡邊 十三香
委 員 渡辺 慶太郎
委 員 久田 孝寛
委 員 鬼頭 明美
教 育 長 加藤 宣和

(事務局関係)

教育委員会事務局	教育部長	山崎 巖生
教育委員会事務局	学校教育課長	中野 直樹
教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課長	増田 喜政
教育委員会事務局	学校給食共同調理場長	岩田 啓二
企画部	企画課長	齋田 充弘
教育委員会事務局	学校教育課副主幹	芦萱 珠代
教育委員会事務局	学校教育課主事	小出 直輝
企画部	企画課主査	鯉江 剛資

4 傍聴人 なし

5 協議事項 (1) 常滑市教育大綱(案)について

6 会議の経過及び発言

○開 会

教育部長：時間より少し早いですが、全員お揃いになりましたので、ただいまから第1回常滑市総合教育会議を開催いたします。始めに、市長から挨拶をお願いします。

○片岡市長あいさつ

市長：こんにちは。大変お忙しい中、教育委員の皆様には第1回常滑市総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃より常滑市の教育行政にご理解ご協力いただきまして感謝を申し上げます。今年度第1回総合教育会議を招集しましたところ、教育委員の皆様にお集まりいただき会議ができますことを厚くお礼申し上げます。

さて、本市は新市民病院の開院や商業施設の立地により、人口が増加し、まちが賑やかになってまいりました。しかし、都市基盤の整備だけでまちづくりが完成するわけではありません。まちづくりはひとつづくりと言われております。都市基盤が整いつつある今こそ、教育の重要性は高まっております。常滑に住む子どもからお年寄りまで、地域に誇りをもち、常滑に住んでよかったと実感できるような生涯をとおしての教育の自立をいっそう目指したいと考えております。

本日は、常滑市教育大綱（案）を提出させていただきました。委員の皆様のお力添えをいただきまして、大綱を策定したいと思っておりますのでよろしくお願します。

教育部長：ありがとうございました。

では、次第に沿って会議を進めさせていただきます。

常滑市総合教育会議設置要綱第4条に基づき総合教育会議は市長が議事の進行を行うことになっておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、市長お願いします。

○議事事項

常滑市教育大綱（案）について

市長：要綱に基づきまして、議長を努めさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

では、本日の協議事項の（1）常滑市教育大綱（案）についてでございます。これは、平成27年度第2回総合教育会議におきまして、ご協議いただきました常滑市教育大綱（素案）をもとに修正し、常滑市教育大綱（案）としたものでございます。事務局の説明を求めます。

学校教育課長：資料に基づき説明

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明

市長：常滑市教育大綱（案）と学校教育の目標と生涯学習の目標の説明がありましたが、委員の皆様からご意見等ございますか。平成28年度から平成32年度までの5年間ということでこれに基づいて、それぞれ各年度の目標が「資料2」に載っていると思います。昨年の「常滑の教育」を私はいただきましたが、先ほど説明された個別の事業の具体的なことは、今年の「常滑の教育」に載ると

ということですか。この「常滑の教育」もあればわかりやすかったと思います。
学校教育課長：実際「常滑の教育」は発言したことが載ってきます。目標の後に個別の事業について実績が載ります。

教育長：「常滑の教育」には今回の内容を細かくしたものです。毎年、学校から現職教育の情報をもらってから完成となるので遅れています。

市長：委員の皆さん何かご意見ございませんか。

鬼頭委員：具体的にどんな活動があるのか内容の細かい事業を明記したものが後日いただけるということですね。

学校教育課長：はい。6月になります。

市長：他にご意見はよろしいですか。

渡邊（十）委員：伝統文化を未来に残していくことは非常に大事な事なので賛成です。今の常滑市をみると、空港ができ、イオンモールができ、道路が拡張され常滑市がどんどん進化しているなど思うのです。伝統を重んじながらも「温故知新」という言葉があるように、今の私たちより進化した暮らしの中で対応していく子どもたちのことを考えると、未来にむけた言葉も入ってもいいのではないかと思います。

市長：事務局いかがでしょうか。

学校教育課長：確かにそう思います。ICTとか子どもたちが変わりゆく社会に適応できるように。

市長：地域のお祭りでも、区画整理で入ってきたような人たちも参加してくれています。こうやって、受け継がれていくことが大切なことかなとつくづく思います。お囃子も受け継がれている地域はありますが、中には80才前後の方たちだけでやっているところもあります。子どもがいる場所では継承できています。音さえあればそれを楽譜に置き換えることもできるので、子どもたちに教えていくことも必要なことだと思います。伝統というのはそのままでなくその時代々にあった祭りの形にすればいいと思います。

教育長：前回の皆さんの意見を受けて3番の文言を入れさせていただきました。

常滑は特に地域で子どもを育てる思いが強いです。学校の応援団はできているが、学校が主体で地域がそれを支えるという感じになっています。

文科省が推奨する「コミュニティースクール」は地域の中にある学校、つまり学校と地域が対等な立場であることです。ある地域ではお囃子をする子どもが少なくなっています。昔は、お祭りが最大の楽しみであったが、いまではそうでもない。そういった中でお囃子を続けていこうとするとお互い努力をしないといけないといけません。例えば三和小学校では、5年生になるとお囃子を学校で教えて音が出るようになったら、地域で教えてもらう。学校が後押しをしています。3番は特にタイムリーで良いと思います。

また、三和小学校では矢田万歳を子どもたちが覚えて、青海公民館まつりで披露し地域の方が喜んでくれました。やはり、地域と学校が努力をしないとい

これからは続いていかないのかなと思います。

市長：前にも話しましたが、常滑東小学校の児童数が増えるという中において、教育長と意見を言い合ったこともありました。私は、スクールバスで北や南に通わせればいいのではないかという話の中で、子どもたちは地域の学校で育てるものだという教育長の意見と合いませんでしたが、今では地域の中の学校というのは守っていかなければいけないことを反省しました。

その他ありませんか。

それでは、他にないようでしたら、協議事項常滑市教育大綱（案）については（案）を削除しまして、平成28年4月から平成32年の5年間、「常滑市教育大綱」として本市の教育に関する基本的な計画として教育、学術、文化の振興に関する施策の基本方針といたしますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。どうもありがとうございました。

次にその他について何かございますか。

事務局ありますか。

学校教育課長：ありません。

市長：委員の皆様はありますか。

委員全員：ありません。

市長：それでは、以上で平成28年度第1回常滑市総合教育会議の議事をすべて終了させていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

教育部長：ありがとうございました。それでは、以上で第1回の総合教育会議を閉会といたします。慎重なご協議ありがとうございました。

6 閉会